



社会福祉法人 朝日園

朝日園開園四十五周年記念

あさひ

第 98 号

感謝

令和 3 年 4 月 1 日発行

☀ リーダーによる討論会
☀ 「二十四の瞳が語る」
☀ 施設だより
☀ 行事の記録
☀ Family Talk
☀ 輝き人
☀ NASA通信
☀ 職員紹介
☀ ニュース
☀ お知らせ

朝日が昇る大空へ つばさを広げて飛び立てば
平成から令和に続く あいと希望のすずらん街道に 朝日ヶ丘が見えてくる

45年間に ありがとう



二十四の瞳が語る

～朝日園の明日をみる～



進行役・松田

社会福祉法人朝日園がこの春45周年を迎えます。1976年、創園者である白井要平氏が、この三木の丘に障がい者支援の旗を上げました。約半世紀に渡る歴史の重みを心身に感じている現朝日園のリーダー12名による討論会を開催いたします。朝日園の管理職12名の瞳、「二十四の瞳が語る」と題して50周年にむけてディスカッションしていただきます。進行役は私、松田が務めます。

まず、最初に令和新时代に第6代理事長に就任された菅谷理事長に新生朝日丸の船長として抱負を語っていただきます。

菅谷理事長

まず、創設の理念「私たちは報恩感謝、福祉の心をもって、希望の明かりを灯し続けます」の継承を掲げます。朝日園は、障がい者の仕事や生活を支援する施設です。初代理事長 白井要平氏を始め先輩方が、福祉の心を強く持ち続け、今日を迎えることが出来ました。

2年前、私の理事長就任と同時に松田・長町両理事も常勤理事として就任されました。松田理事は企業で培われた経営感覚をもって、ITや組織改革を中心とした令和ソリューション（問題解決）を立ち上げ推進していただいています。長町理事は障害者生活支援センターの事業拡大推進に長年の経験を基にご尽力いただいています。また、両理事は当園の新型コロナウイルスの感染対策部門としてNASA委員会をいち早く設置し、議長・副議長として感染防止に手腕を発揮され、コロナ対策を進めてきました。また、中村・谷口両施設長も新たに就任し、三木・高松事業所のリーダーとして力を発揮してくれています。

このように、福祉も大きく変動し、時代を先読みした施策こそが、利用者さんとそのご家族さん



▲菅谷理事長

の不安や悩みを解消でき、幸せに繋がると信じています。

私たちらしく出来る仕事と生活を守り、利用者さんも職員も笑顔でいられる法人を目指し、出来ることが増え、誰かの役に立ち、常に希望をもって日々過ごせるようにチャレンジしていきたいと思っています。

また、印刷を中心とした就労環境の充実と工賃向上、生活の質を高め、誰もが生き生きとした生活を過ごせる場所にする。利用者さんと職員がお互いの人格を尊重し、働きやすい職場を目指します。

進行役・松田

菅谷理事長の優しさと思いやりのある人柄がふれたご意見ですね。菅谷理事長とお話する時、常に言葉は「利用者ファースト」ですね。施設でも利用者さんとお話してる姿をよく目にします。利用者さんからも信頼されている所以ですね。続いて私と同時に理事に就任された長町理事にご発言をお願いします。

長町理事

理事に就任して早や2年。新理事長で新体制をスタートするその時に、理事就任のお話をいただき、自分でもなんとか力になればとの思いでお受けしました。今にして思えばなんと身の程知らずと反省しています。

今現在、理事の中で女性、且つ障がい者の当事者としても私だけです。「多様性が認められる社会」「風の時代」など新しい時代に入ったと昨今言われていますが、朝日園はそういう意味では先端を行っているのではと私なりに勝手に解釈しています。この責任の重みは日を増して感じておりますし、法人の経営についてなど自分にとってはとてもハードルの高いことですが、でも朝日園を愛する、そして大切に思う皆さんとともに手を携えて支えていきたい、ただそれだけなのです。

進行役・松田

まさに女性総活躍時代と福祉の時代を身をもって推進されてますね。また、長町理事は朝日園で創園当時からおられた方ですね。言わば朝日園の生き字引と言って過言ではないでしょう。入職時や創園者白井要平氏の想い出も多々ありますね。



▲松田理事（進行役）

長町理事

創園者白井要平氏との出会いは、私の中の記憶では朝日園に就職の面接に伺った時がほぼ最初と思いますが、後からお話を聞くと1年前くらいから私のことをご存じのようでした。それは高松養護学校の卒業式とか各種行事で来賓として来られていたからだと思います。人との出会いは偶然か必然か不思議なものです。就職先に困っていたあの時の私が今こうして朝日園で40年近く在籍させていただき、私自身の人生に大きな力を与えてくださった方だと感謝しています。

朝日園に就職してから温かい目でいつも声をかけてくださり、仕事には大変厳しい方だと聞いておりましたが、私がついふざけたことを言ったりして、今思えば失礼なことを言っていたと思いますが、いつも笑顔で向き合っていたこと、大きく人を包み込むあの安心感を忘れません。本当は遠い存在の方であつたのに大変身近に感じていた思いがあります。

進行役・松田

創園者との出会いが今ある人生ですね。運命的な出会いの素晴らしいお話でした。



▲長町理事



▲中村施設長

次に令和新时代に出航した新生朝日丸の高等航海士役の中村施設長と谷口施設長に抱負などを聞きたいと思います。

中村施設長

令和元年7月1日に就任し、「報恩感謝」を念頭におき利用者・職員の皆さまの「より良く生きる」の為、思考し、知恵を絞り、皆と共に実施してきました。まだまだ道半ばのこともあります。50周年に向け成し遂げていきたいと考えております。また、人財育成、地域福祉拠点としての確立、誰にでもやさしく親切的な施設づくりに取り組んでいます。

特に職員の働き方改革とコスト削減、そしてなにより利用者さんのより良い生活のために尽力してきました。新体制になり、人員が大幅に減少し、コロナ禍に於いて業務は倍増しています。そんな中、職員の働き方改革と処遇改善のため、IT機器、介護機器、新規システムの導入により省力化を徹底し今日取り組んでおります。減員した職員を補うべく「新卒生」の獲得のため学校訪問を丁寧に行い応募人数10名、令和3年度は新卒8名を採用しました。

進行役・松田

令和の朝日園になって施設長として特に力を注ぎたいことも発言していただけますか。

中村施設長

コロナ禍で衛生用品、消毒用品など昨年度とは比べものにならないほどの経費が計上されています。利用者さんや職員の命に関わる必需品です。十分な準備が必要です。そこでそれ以外のコスト削減を課題に「気づいた無駄はすぐに排除」「物品購入の前にまず交渉」を合言葉に経費節減を意識しています。まだまだ十分とは言えませんが、もの静かな職員が価格交渉をする姿は（値切りのプロになりつつ）頼もしく思えます。それと新卒採用者の育成に力を注ぎます。経験や技術はきちんとした知識に裏付けられてこそ心や体に浸透していきます。

人にやさしく、時には厳しく、尊敬されるリーダーを目指すとともに次なるリーダーが「今以上に良くなりたい」と思える姿勢で臨みます。ただ、元来おつちよこちよいでするのでご容赦ください。

進行役・松田

コスト管理は重要な案件ですね。管理職会議で長嶋理事の提案もあり全職員のコスト意識は高まっていますね。またこの春の新人8名が長町理事のように40年以上活躍されるよう期待したいですね。中村チルドレン誕生ですね。次に高松事業所を牽引している谷口施設長お願いします。

谷口施設長

令和2年4月より、朝日平成園、すずらん、地域活動支援センターあさひ、障害者生活支援センターあい、福祉ホーム朝日つばさ、ホームヘルプあさひの施設長に就任しました。

微力ではございますが、職員と力を合わせ、皆さまに喜ばれるような支援を行えるよう努めますので宜しくお願いいたします。新体制になって特に施設・設備を改善し、職員の能力開発やチームワーク向上を図ります。

高松事業所での取り組みとして、以前は、

生活介護室が2階に設置されており、朝の通所時、昼の食事時、夕方の帰宅時など、一日に何回も1階から2階へのエレベーター移動があり、その度に、エレベーターを待つ利用者さんがいました。また、2階での活動ということで、万が一、火災等の災害発生時にも、避難行動が困難な場面が想定されていました。そこで、生活介護室を1階に移動する計画を立て、バリアフリートイレや洗面化粧台等、必要な設備を増設し、部屋全体のリフォームを行い、日中活動の部屋も広く快適なものになりました。今では、新しい環境で、明るく楽しく毎日の活動に取り組まれておられます。



▲谷口施設長





▲伊豆野課長

伊豆野課長
生活介護課では重度化・高齢化が大きな課題となっています。身体機能の低下に伴い入浴や清掃、

進行役・松田
高松事業所は多種多様な事業所があり、また、コロナ禍の中、施設改修や合同イベントの開催企画など従来から大きく変革されているのが感じられます。各事業所の職員・支援員の持ち味や能力を引き出していますね。利用者さんの元気と明るさからもパワーを感じます。まさに谷口・大西両リーダーが一体感をもって活躍されています。続いて三木事業所の生活介護課リーダーの伊豆野課長に発言をお願いします。

送迎業務については、以前は職員中心に行っており、送迎時刻になると現場職員が不足する事態となっていました。また、安全運転と事故防止の観点から、令和元年度から試験的に送迎自動車運行業務のアウトソーシングを進め、2年度より本格的に運用開始しました。開始から1年を迎え、日々改善を進めてきましたが、今後もより良い送迎業務となるように皆さまにご意見をいただき、業務委託会社の株式会社あさひ交通様（松栄物流）と改善を続けていきたいと思います。

洗濯など今まで自分で出来ていた事が出来なくなり支援が必要な方が年々増えてきています。その人に合った支援を考え、体制の充実や介護機器、介護ベッドなどを導入し、より長く朝日園で生活出来るようにサポート出来ればと思っています。また、重度化する中で、安全に支援が行えるように早朝の人員体制を2名にし、土日祝日の日直2名以外に生活介護課の支援員を1名配置し、3名で担当しています。コロナ禍の中で外出が出来ずに我慢している方も多くいます。職員がアイデアを出し合い工夫し、夏はバーベキューや花火大会、冬は忘年会や初詣など園内で出来る行事を今まで以上に充実させました。毎日のレクリエーションでも楽しんでもらえるように工夫して行っています。早くコロナが収まり外出行事やショッピングなどが出来るようになればと思っています。

進行役・松田

朝日園入所の利用者さんの高齢化対策は今後の大きな課題です。また全国や香川でも朝日園と同様の入所施設にて新型コロナウイルスの集団感染が発生しています。そんな中、職員・支援員の総力でコロナと闘っていました。朝日園組織全体では11名の看護師さんの助言や指導も心強かったですね。ここで障害者生活支援センターあいについて、藤井課長に相談支援の活動状況や抱負を聞きたいと思っています。

藤井課長

障害者生活支援センターあいでは、相談業務の1つとして基幹相談支援事業（地域拠点）で古高松地区、川添地区、前田地区の障がい児・障がい者でサービスに繋がっていない人たちの相談業務を行っています。地域での生活が困難なケースも

▼ブルーライトアップによる、医療・介護関係者へのエール（夕涼み会）



増えてきており、福祉サービスのみでは対応出来ないことも多くなってきた中で、私たちとしては、当事者と会って何が必要か一緒に考えています。

新体制については一人で抱え込まず、とにかく情報共有をしていくことを心掛け、常に報告・連絡・相談を利用者さんにとって良くなる方向へ一緒に進めるように検討しております。相談業務歴は浅くても、福祉に関しては長年携わっていたメンバーたちで、利用者さんの気持ちに寄り添える人たちが集まってくれたと思います。

進行役・松田

相談支援は多様化する福祉業界でも「心のバリアフリー」として障害者支援でも大変重要な仕事です。自らが障がい者であり、利用者さんの立場で支援する長町理事も相談業務に携わり、また、経験豊富な壺井元理事長にも協力参加いただいた事も大変心強かったです。令和の新体制になって、最強のメンバーが集まりましたね。相談された利用者さんからも安心と喜びの声が多く聞こえてきます。

それでは次に、朝日園の運営の中心部署として総務関連や法人会計という重要な仕事を任されている橋谷課長補佐に発言をお願いします。



▲藤井課長

橋谷課長補佐

法人として新しい一步を踏み出した朝日園とともに、法改正などの社会的変化も数多くありました。遵法かつ誠実な対応を心掛け、疑問点の解決には専門書と首つ引きといったことも…。今では公認会計士や社労士の方々にご相談出来ることとなり、適正適法な手続きを安心して行えております。

進行役・松田

法人会計の一本化による会計情報公開等、常に先を見越した会計システムに取り組んでいます。特に監査体制で山地繁雄税理士事務所の公認会計士の指導監査で、法人運営のAI化による健全経営とスピード感が得られました。

橋谷課長補佐

「総務」は、「庶務」「労務」「経理」という様々な業務を担い、多くの方々と関わり合いながら業務を遂行する部署です。少数の部署ですので、協調性は抜群ですが機動力に欠けるところもあります。多くの業務の中から優先的に取り組む業務を見出し、配分することが不可欠だと思っています。



▲橋谷課長補佐

進行役・松田

総務業務は法人運営の心臓部です。橋谷課長補佐の努力が日々実ってきています。また働き方改革などについての取り組みは後半で聞きたいと思っています。次に令和2年にリニューアルオープンした給食運営について、新しく新設した食品課の植村課長から発言をお願いします。

植村課長

昨年3月に、5カ年計画で進めていた厨房がリニューアルしました。厨房と食堂の間に「見える窓」を設置して解放感のある厨房となりました。「食べる人への想い」と「作る人への想い」が互いに通い合えて「食育」にもつながっています。ハード面での設備が整い、HACCPの手法（危険ポイント管理）での衛生管理がよりし易い環境となつていきます。コロナ禍での分散型食事でも、衛生的に配膳できる温冷配膳車を導入しています。

この冬、利用者さんが長年ご希望されていた「温かいお食事」に大変喜んでいただけました。地産地消でのオリブ牛のステーキ丼や肉巻きおにぎり。忘年会の手作りお弁当やおせち料理など新しい取り組みも行いました。

利用者ファーストのメニュー開発として、10代から80代と多様な利用者さんそれぞれが希望される給食への思いにお答え出来るように、皆さまのご意見に耳を傾けて良いサービスに繋がれたらと思っています。また、生き続ける限り口からお食事をされたいと望





▲植村課長

まれる方、また今年高校を卒業し、通所されている利用者さん双方に美味しかったと言ってもらえるように、それぞれに合わせた食事形態を個別に準備させていただいております。

さらに厨房設備が整えられた事で、特別食（刻み食・ミキサー食、アレルギー食をご希望されている方を含め、法人内全員のお食事のサポートをより細やかにしていけるようになりました。皆さまの健康維持にこれからも努めてまいります。

進行役・松田

私も昼食を楽しむにしている一人です。パリの天ぷらや、温かい丼物など、利用者さんが食べている笑顔が素敵です。外部から来られた訪問者の方々も見える厨房に賞賛頂きました。またHACCP五つ星食堂の取得についても聞きたいのですが。



植村課長

HACCPの衛生管理において給食関係者には日々力をいれて実施してもらっています。朝日園は9月に「菓子製造業」「飲食店営業」「魚介類販売」の3営業許可を取得しました。食品衛生協会の食の安心・安全「五つ星」事業のHACCPの手法での衛生管理を行っています。

令和3年1月に食品衛生協会の食の安心・安全「五つ星」店の審査を受けました。HACCPの手法での衛生管理の実施において、全ての衛生管理項目がオールAランクで福祉施設として初めての「五つ星」店で登録されました。日々の衛生管理について評価がされ、今後も自信をもって食品販売・給食運営に取り組めます。

進行役・松田

HACCPはおそらく全国の福祉施設では稀だと聞いています。今後、義務化される予定ですが、審査基準のハードルは非常に厳しく、取り組みには多くの事業所でも苦労されています。植村課長の綿密な設備計画によって、最先端の電化システム導入や衛生管理配置は高級ホテルの厨房を凌ぐと思います。また最新設備だけではHACCPは取得できません。衛生管理意識とメニュー開発能力を持った優れた食堂スタッフ全員の力だと思えます。それでは次に、高松事業所の大西課長に新しい体制での取り組みを紹介してもらいます。

大西課長

各事業所間で協力体制を作り、合同行事や日々の支援を連携して実施しました。また、今年度に入ってから、感染防止対策においても、事業所の枠を超え、看護師を中心に協力して、環境整備・体制づくりを行いました。介護支援の課題（重度化・高齢化）として、現在の利用者さんの状態と思

▼「HACCP 五つ星食堂」にリニューアル





▲大西課長

を知るということをテーマに、AIP介護グループで取り組みました。

特に重度の利用者さんに焦点を当て、朝日園での入浴が難しい方を、令和2年11月より、ずららんで試験的に受け入れ、令和3年1月より、ずららの本格利用に繋げることが出来ました。ヘルパー高齢化についても、ベテランヘルパーがおられるうちに、新しいヘルパーの指導をしていただくことも予定しております。

進行役・松田

高松事業所は全員が通所利用という環境の中、送迎管理が大変です。また、コロナ対策においても職員・看護師の豊富な経験と知識で先手先手の対応が功を奏しました。

また、利用者さんの重度化対応のスキル向上にも日々研鑽され感謝しています。次に障害者支援施設の重要な就労支援、すなわち利用者さんの仕事支援を担当する大塚課長補佐と植松係長に発言をお願いします。

大塚課長補佐

新体制になって、工賃向上のため新規の軽作業を積極的に取り組みました。お菓子類の詰め込み

作業など利用者さんの技術向上に努めました。また朝日園の創園以来の歴史的事業である年賀事業では、年賀再生ワーキングチームを立ち上げ、前年を上回る件数を受注しました。今後は年賀の特別企画も行い、顧客ニーズに対応した企画に挑戦して行く予定です。

仕事支援の課題として、利用者さんの仕事をバランスよく受注することは難しく、今まで通りの仕事だけでなく、違う仕事に利用者さんも職員もチャレンジすることが必須となってきました。

また印刷事業の拡販策として、優先調達推進事業の取り組みを推進していきます。令和元年と2年に香川県の優先調達説明会へ参加し、朝日園の印刷を分かりやすくPRしました。

それに連動し優先調達に焦点をあてた朝日園の授産事業紹介パンフレットを作成し、主に官公庁へのPRを続けた成果として、ここ約1年間で印刷物・封筒の受注が順調に増加しています。



▲大塚課長補佐

植松係長

就労支援の一環として、職場の安全・整理整頓を遵守する5S運動の展開を進めていきます。また、職員がコスト意識を高く持つことで、ミスの削減、ひいては工賃アップの一助になると考えています。同時に利用者さんの希望や個性に合った支援ができるよう支援員のスキルアップに努めていきます。デザインや企画についても、顧客ニーズに応える力を獲得できるよう印刷・編集についてのスキルアップも目指していきたいです。

進行役・松田

創園者の想いの中でも障がい者が働ける場所を創る事、就労部門は言わば朝日園の本業部門です。その中でも年賀事業は朝日園の最高の宝物と言われています。年賀状離れと言われる昨今、朝日園は「こんな時代だからこそ、想いをカタチに」と言うキャッチフレーズで年賀再生に取り組みました。

そして令和2年に年賀事業の復活の兆しが見えてきました。職員の総力で3千件を突破しました。白井理事の言葉の中に「年賀の件数は心の数である」言い換えれば社会福祉法人朝日園に対する応援協力者の人達の真心の数字と私は理解しました。



▲植松係長

朝日園の希望の明かりとは年賀かも知れませんが、利用者さんの喜びもそこから生まれてくるのでしよう。

それではこれからリーダーの皆さんに50周年に向けての抱負や希望を語ってもらいます。まずは菅谷理事長よりお願いします。

菅谷理事長

職員と利用者さんが持っている力をお互いに発揮し、自分たちが満足でき、地域で認めてもらえる施設を目指していきます。

50周年に向けて、職員、利用者さんと家族全員の意見を盛り込んだ5カ年計画505プランを実現させることだと思っています。「505プラン」の中でも特に推進する事項として、令和ソリューションの実行と考えています。利用者さんのニーズの高いものから実現を目指します。仕事では高い工賃を目指す仕事獲得や健康維持のための環境・設備づくり、社会参加のための活動や送迎などを充実させていきます。スポーツや芸術などにも積極的に取り組んでいきたいです。

長町理事

障がい者の方が安心安全な働く・暮らすを実現



し、人生において少しでも多くの選択肢が揃えられる場所でありたいと思います。

そしてそこで働く方々（職員・準職員）が誇りとやりがいをもって支援に力を注いでいただける場所であることを願います。

505プランの中でも特に推進する事項と抱負については、グループホーム開設（ショートステイ併設）・福祉ホーム朝日ヶ丘の改修、新しい就労事業の検討（地域で独居の障がい者や老人等への食事提供、通販業務 他）、朝日園生活介護、施設入所支援の重度化・高齢化対策（入浴施設増設・食堂改修、支援の改革）を50周年には形にしたいと思っています。

また、コロナの感染拡大に伴い、感染症特別対策本部から令和2年5月に新たな実働部隊として「NASA委員会」が設置されました。「新しい朝日園スタイル」の行動組織、組織名を「New Asahi Style Action」（呼称：NASA：ナサ）として「AFTERコロナ」から共存する「WITHコロナ」を意識し、法人の全8施設内で総合的支援の継続と更なる予防施策に努めてまいりました。朝日園グループの関係する全ての人の「命と生活を守る」「施設を守る」ため使命感・責任感を持って職員・準職員一人一人が考え行動されていることに感謝しています。今までの朝日園の歴史にない大きな意味のある委員会であると思います。

中村施設長

長く利用できる安心・安全な設備のある施設、災害に強い施設（自助インフラ整備）、IT、IoT、福祉システム活用で省力化と業務の時短・長く勤めたくなる施設、働きやすい施設の推進です。また、505プランは長町理事と同じ意見です。付け加えることは50周年記念式典開催、50周年記念誌発刊、2025年に準備委員会発足ですね。

▼新しい会議システム



谷口施設長

高松事業所大規模改修計画では、1993年に建設した「朝日平成園北館」が、築30年を迎えることにあたって、建物の全体的リフォームと、2基あるエレベーターの内、1基が更新時期となっていますので、この機会にストレッチャー対応のものに更新したいと考えております。

また福祉ホーム朝日つばきでは、居室のエアコンが2001年設置から20年経過していますので、全室更新したいと考えております。

各種クラウドシステムの導入では、「Salesforce」「給与奉行・勤怠管理クラウド」「会計ソフト社会福祉法人 with freee」を検討しています。

印刷事業等の基幹システムについては、「2025年の崖」を越えるため、2008年に導入した既存のシステム刷新を進めてまいります。

伊豆野課長

朝日園の現在の入浴設備では安全に入浴ができない方が増えてきています。重度な方でも安全に入浴が行える介護入浴設備の導入を早急に進めていかなければならないと考えています。安心して生活を送ってもらうためにも必要な設備だと思います。

親亡き後の事を考え、福祉ホームやグループホームは重要になってきます。朝日ヶ丘は開所して38年目となり施設の老朽化が目立ってきています。今後利用者さんの要望も聞きながら、大規模な改修工事を行っていかねばいけません。看護師会の充実については、毎月1回、法人で勤務している看護師が集まり医務に関する困りごとや相談などを話し合い、各施設と情報共有するなど有意義な会議となっています。各自で資料を持ち寄り、知識を深める為の勉強会も行っています。日頃の様々な問題を個々の看護師で考えるのではなく、

議論しお互いの専門性を活かしながら活発に意見交換をすることによって、より良い利用者支援のあり方を考えることが出来ています。

藤井課長

相談業務については、答えがなく正解がわからない困難ケースも増えてきており、福祉サービス

のみでは対応出来ないことも多くなってきています。障がい児・障がい者のみでなく、引きこもり、貧困者、両親の高齢化、障がい児を持つ母子・父子家庭などの様々な人たちにも医療・教育・就労・福祉など様々な要望を聞きとり、どの関係機関に繋げていけばいいのか検討していく必要があります。その中で相談支援員としては、いろいろな機関と顔が見える関係性を築き、支援にあたる必要があります。

橋谷課長補佐

多種多様な生活様式やライフステージに沿った働き方が求められる中、現在、各種システムのクラウド化やシステム間の連携による一元管理などを推進しております。これらは、いち早く情報を収集・共有し、支援員や指導員がご利用の皆さまのニーズに即したより良い支援に繋げることや職員が長く勤められる職場環境づくりの土台となるものです。その早期完成に向けて微力ながら尽力したいと考えています。最後に、法人に関わる皆さまが笑顔でより良い時間を過ごしていただけるよう今後も努めたいと思います。



植村課長

今後は、給食部門と食品販売部門の2分野で衛生管理を行い、それぞれに求められる成果を残していきます。給食を通して食育・健康維持・食べる喜び、幸せを感じて頂けるよう努力いたします。食品販売では、菓子製造と惣菜販売での商品開発を行っていきます。菓子販売ではクッキー、シフォンケーキ、カップケーキ、いりこ菓子等を、惣菜販売ではいなり寿司、巻ぎずし、唐揚げ等の試供、試作販売を行っています。食品表示やパッケージ等もデザイン部門の方と行っていきたいと思っています。

大西課長

適正な介護体制作りが急務と思われます。それと併せて、これからの方向性（重度者にどう対応するのか）を検討していく必要があると思います。また、ハード面としては、介護入浴設備や介護用ベッドなど介護ができる環境・システム作りが課題だと考えます。看護師会の充実として、法人全体で連携して、徹底した感染予防の知識・技術・体制作りを進めます。会の中では、情報交換の場のみではなく、医療的困難ケース等に関してディスカッションを実施し、実際の支援に繋がられています。現在取り掛かっている医務的情報の書類整備・ほのぼのシステムとの連携・活用についても引き続き検討していきたいと思っています。

大塚課長補佐

約20年が経過し老朽化が進む印刷機、4色機（平成14年導入）、2色機（平成12年導入）の現実的な更新検討時期になっています。ただし機器の新規更新だけでなく、現有機器のメンテナンスを協力会社と連携し印刷機器の保守整備にも努めます。また、工程管理システムを更に「見える化」し、

作業者全員がチェック出来るような運用を行いたいと思います。

年賀事業の方向性については、地域密着型のDMパンフレットで進めてきましたが、今後はより一層地域色を出すことで、他の大手販売者と差別化していきたいです。Web受注開始はかねてからの悲願であり、システム整備に課題は多いが前進していきます。

植松係長

第一に「働くことを通して社会と繋がっていること」を感じてもらえることが大事だと思っています。働きたいが無理の出来ない方、技術を身につけたい方、収入を確保しなければならぬ方、一般企業で働く目標がある方など目的は様々ですが、個々のニーズに合わせたお手伝いをするのが私たち就労支援の使命と感じています。

進行役・松田

リーダーの皆さんありがとうございます。
12人の皆さんの瞳・二十四の瞳が語る討論会、「朝日園の明日をみる」と題して意見を伺いました。進行役の私の勝手な解釈かもしれませんが、「瞳と人を見ること」人見（ひとみ）と書くのかも。

すなわち12名の管理職の皆さんが人を見る、利用者さんの心を見ることが福祉の心だと思っています。令和の時代になって菅谷理事長体制が船出をしました。新しいスタイルの管理職会議も誰一人欠席者も出ず、全員で改革と福祉業務に取り組みしました。改革には痛みが伴います。特に管理職の皆さんには過去の慣例からの脱却に戸惑いを感じたでしょう。でも、この航海は過去を振り返るのではなく新しい海への出航です。そんな中、新型コロナウィルスというとても大きな嵐に直面し、試練に立ち向かいました。職員・サービス管理責

任者・看護師の英知を結集し全身全霊でコロナと闘いました。利用者さんとご家族を守り、朝日園グループを守ってくれました。利用者さんご家族・職員の一体感、三位一体の勝利です。

朝日園の創園者である白井要平氏が作詞した朝日園の歌には「♪同じ心で集いたる…♪苦難の道乗り越えて…」と言う文節があります。まさに今この時です。同じ心で集った仲間たちが一体感と団結をパワーにしてコロナと言う苦難を乗り越え、「先手！先手！コロナに勝つためには！先手必勝！」と全力で闘っています。

一方「同じ心で集いたる朝日園グループの家族会」の想いも一つになりました。2021年4月に「朝日園さつき会」「朝日平成園家族会」「朝日つばさ家族会」「すずらん家族会」の4つの家族会が統合され「あさひ♡家族会」として生まれ変わりました。初代会長に中山節子氏が満場一致で選ばれました。わが子、わが兄弟の将来の不安を打ち砕き、明るい幸せと希望が満ちあふれた花園（施設）を一緒に築きましょう。

みんなで一緒に健やかな明るい未来にむけて、

「一 緒 健 明」を合言葉に！
いっしょけんめい

春の来ない冬はなく、朝日は明日も東の空にのぼります。この新生「朝日園グループ」の歩みの先には、明るく楽しい幸せが待っていることを信じています。白井要平氏が創園して昭和・平成・令和の3時代を駆け巡り、この春45才の誕生日を迎えます。この45年の道のりは、諸先輩方や現職の皆さんで築きあげてきました。

これからも、この歴史を引き継ぎ日本一の施設にしましょう。そして50周年に向けて利用者さん、そのご家族、役・職員合わせて総勢約450名の乗組員で新たな希望の海に出航しましょう。





障害者支援施設 朝日園 セルフ課（就労継続支援 A 型／就労継続支援 B 型）

印刷、手作業はお任せ 協力・強力な工程ライン！そしてこれから…

セルフ課では、印刷や軽作業の生産に 45 年間取り組んできました。時の流れで環境は目まぐるしく変化し、そのつど最新の機器を導入し覚え、製品をつくるよろこび、社会へ貢献する就労意欲を利用者さんと育んできました。

そしてこれからも、共に障がいとつきあいながら就労意欲を燃やし続けていきます。



障害者支援施設 朝日園 生活介護課

いつも楽しく「安全」に！「個性」を生かした毎日を！！

利用者さんはもちろん、職員も楽しくて面白いことが大好きな私たちは「安全」に充実した日々を過ごせるよう、歩行訓練や体操、外出行事や季節に合わせたクッキングなど、様々な活動に取り組んでいます。

個性あふれるメンバーで過ごす毎日は、いつも刺激と笑顔でいっぱいです！！



障害福祉サービス事業所 朝日平成園 セルブ課（就労継続支援 B 型）

軽作業「匠」が集う場所… その名も平成園お仕事集団！！

長い歴史の中、日々の作業でつちかったその腕を「匠」の域まで高めた利用者の方々…
その「匠」が仕事はもちろん、イベントやレクリエーション活動においても、妥協を許さず、
「全集中」で楽しんでいます。
主には、ボルト作業を中心に、昨年から新たに和菓子の封入作業も始めました～



障害福祉サービス事業所 朝日平成園 生活介護課

みんな違ってみんないい、個性派集合！

虹のように人それぞれに素敵な色がある！
個性を大事に暖かい色の虹が架かりますように。



障害福祉サービス事業所 すずらん（生活介護）

お風呂で体すっきり心ほっこり「いやし」を提供します

すずらんでは、ゆったりとした時間が流れています。
ご家族様のご協力もいただき、利用者さんの体調管理もしっかりと行っています。
利用者さんがすずらんに来て「ほっと安心する」空間作りを今後も目指します。



地域活動支援センター あさひ

人と人、心と心をつなぐ場所。そして今日も笑顔の倍返し。

明るいあいさつを大切に、利用者の皆さんと職員が一緒に笑顔になれる。「今日もきてよかった」と言っていられる。そんな魅力ある温かい空間の創造を目指し、日々の活動を行っています。
地域活動支援センターあさひでは、入浴サービスの提供も行っており、広々とした浴室は、一度に複数の方が気持ちよく入浴いただける設備となっています。



障害者生活支援センター あい

あなたの悩みや困りごとを「安心」に変えたい

障がいのある方やそのご家族がより良い生活ができるように、必要なサービスや利用できる制度の情報などを紹介し、ご本人にあったプランと一緒に考えていく相談窓口です。
「あい相談してよかった。ありがとう。」という言葉がいただけるよう頑張ります。



福祉ホーム 朝日つばさ / ホームヘルプ あさひ

さあ、つばさを広げて羽ばたこう。

家庭において日常生活を営むことに支障のある障がいを持たれている方々に対し、日常生活に適する居室、その他の設備を提供し、利用者さんに必要なサービス支援を行います。
今後も、利用者さんの日々の安定した生活を支援していきます。



朝日園 総務課・食品課

食べる楽しみで「心と体」に幸せを贈ります。

「食べる」という字は「人」を「良」くすると書きます。

「HACCP 五つ星食堂」で「五つ星調理員」が料理をつくり、皆さんの「五つ星笑顔」もつくります。

総務は法人の要

優良法人は総務がしっかりしてると言われます。働き方改革と AI 改革に取り組み、皆さんの生活を守るために、責任感と使命感をもって総てに務めます。



朝日園 法人本部

希望の明かりを灯し続ける灯台守、輝く未来を決める羅針盤。

私たちは晴れの日も、雨の日も、風の日も、昼も夜も皆さんの安全と無事を祈っています。

私たちは朝日園の灯台守として、皆さんの幸せと希望の航路に明かりを灯し続けます。

私たちは皆さんの輝く未来向け、行く先を決める羅針盤となります。

私たちは 45 年前の創園者の想いを胸に刻み、50周年に向けて更なる飛躍を約束します。

行事の記録



【高松事業所3施設合同BBQ】

(R2.7.11)

場所：朝日平成園（高松事業所）

バーベキューと縁日を開催！焼肉、かき氷、駄菓子屋体験、輪投げ、魚釣りゲーム、くじ引き等、暑さも吹き飛ばし楽しい1日でした。



【高松事業所3施設合同お茶会】

(R3.1.15)

場所：朝日平成園（高松事業所）

高松事業所の3施設合同でお茶会を開催しました。お抹茶と和菓子でゆっくりとしたひと時を楽しみました。



【高松事業所3施設合同夏祭り】

(R2.8.22)

場所：朝日平成園（高松事業所）

焼きそばやフライドポテトでお腹を満たした後は、各会場に分かれオセロ大会とポッチャ大会。1部屋丸ごと使ったお化け屋敷や廊下一杯に飾り付けられたパルーンアートもあり、あっという間の1日でした。



【朝日園プチ運動会】

(R2.10.17)

場所：朝日園（三木事業所）

2つのチームに分かれてプチ運動会を開催しました。消毒競争や、玉入れ競争にパン食い競争！白熱した1日となりました。



【高松事業所3施設合同文化祭】

(R2.9.26)

場所：朝日平成園（高松事業所）

朝日平成園利用者さんによるアートリンクダンスの発表に平成バンドの生演奏。また、すずらん、活動センターの利用者さんを加えてのファッションショー。作品の展示も行い、家族の皆さんも多く来場され賑やかな1日となりました。



【ハロウィンパーティー】

(R2.10.29)

場所：朝日園（三木事業所）

朝日園にもハロウィンがやってきました！！職員も利用者さんも個性あふれる仮装で楽しみました！！ハッピーハロウィン！！



【初詣】

(R3.1.16)

場所：朝日園（三木事業所）

出前昼食をして、ちょっと特別気分！史上初？！園内での初詣を実施！！職員渾身の手作り初詣セットでお正月を楽しみました！



【高松事業所3施設合同ミニ運動会】

(R2.10.24)

場所：朝日平成園（高松事業所）

3施設の利用者さんが混合で4チームに分かれ、玉入れ競争、パン取り競争、玉送り競争を行いました。どの競技も白熱し、熱戦が繰り広げられました。



【すごろくゲーム】

(R3.1.21)

場所：朝日園（三木事業所）

体育館を利用し、参加者が実際にマスを移動して楽しめるビッグすごろくゲームを行いました。大きいさいころを使って、ゴールを目指します！！ゴールできた時の喜びは最高でした！



【朝日平成園 寿司パーティー】

(R2.11.21)

場所：朝日平成園（高松事業所）

握り寿司をメインに、茶わん蒸し、みそ汁の調理活動を行いました。外出行事が規制される中、笑顔いっぱいの寿司パーティーは大成功でした。



【節分イベント「鬼退治！」】

(R3.2.2)

場所：朝日園（三木事業所）

今年は赤鬼・青鬼がやって来ました。昨年までとは違い、金棒に衣装・・・迫力があります・・・！締めくくりに鬼ケーキで節分を楽しみました！



【高松事業所合同クリスマス会・忘年会】

(R2.12.25)

場所：朝日平成園（高松事業所）

例年は1つの会場で盛大に行う忘年会も、今回は3密を避け各会場に分かれての開催。職員による劇、利用者さんのハンドベル、ビンゴ大会等、リモートにより行いました。



【ひな祭りを祝いました】

(R3.3.3)

場所：朝日園（三木事業所）

東かがわ市 松田展和様よりご提供いただいた、ひな人形を飾りつけしました。「綺麗だね」「華やかで素敵」「気分が明るくなった」など、とても喜んでいただけました。少しでも気持ちが晴れ、明るくなっていただけることを願っています。



片岡 良平さん

(父) 良民さん

今回は、片岡良平さん（四十七歳）と、父、良民さん、言葉の端々にお互いへの思いやりが感じられる男同士。

良平さんは予定日より一か月早く産まれ、生後一年が経過した頃、脳性小児麻痺と診断されました。その頃の良民さんは、仕事で高知・徳島・仙台と、転勤続き。仙台から東京の病院へ通院させていたこともありました。しかし、家族の将来を考え会社へ掛け合い、地元である高松へ戻ってくることになりました。

良平さんは、両下肢と左手が不自由で、視力が弱く、小学校・中学校を高松養護学校へ、高校は寒川高校に通いました。高校卒業後は香川大学商業短期大学部に入學しました。卒業後に朝日園を利用することになり、印字科でお仕事を始めました。

現在、平日は福祉ホーム（朝日つばさ）から朝日園へ通い、週末は家に帰って家族と過ごしています。

「子どもの頃はよく悪さをしました。」という良平さん。今だから言える話、中学校ではタバコを吸ったこと（興味本位で）がバレて、丸刈りにされたこともありまう。養護学校では指導者に恵まれていました。先生からはよく「何でもトライしてみる。やる前からできないとは言うな。」と言われて育ちました。前向きな力強さはその頃につちかわれたものと思われまう。

また、高校時代は早弁はあたりまえ、学食ではうどんを食べ、まだ足りずにパンを買い、母が持たせてくれる七個のおにぎりは「おやつ」に変身。いくらでも食べられる成長期、ちよつとした暴れん坊だったようですね。



▲中学生の頃

僕、負けず嫌いなんですよ（笑）

仕事を始めた頃は、まだワープロの時代。しかし、これからはパソコンを使う時代がやってくるとの恩師のアドバイスで、坂出にあるコンピュータ塾に技術を習いに行きました。良平さんは、「工賃が発生する以上、ちゃんとした技術を身につけなければ！」と前向きに頑張りまう。その甲斐あつて、今ではイラストレータ（編集ソフト）を使い、学校新聞の初級編の基礎ベースの編集をまかされています。

障害を理由に、後ろ向きにならない

障がい者にとつて、香川県は住みやすい場所とはいえません。以前大阪に一人暮らしの練習の為行つた時、どこへ行くにも電車が利用できるとても便利でした。しかし香川県ではタクシーを使わなければ移動できない所が多く、障がい者にとつて、もっと生活しやすい街を作つていかなければいけないと思ひまう、と。課題はたくさんありますね。

また、出かけることが大好きな良平さん、徳島ラーメンにはまり毎週毎週食へに行つていた時期がありました。そのうちに、なんと！そのお店にスロープがついたのです。車椅子でも、どんな外に出てアクションを起こしたからだと思ひまう。これも一つのアピールになったかな、とニツコリ。良平さんは、障害と生活についてとても深く考へており、頼もしいです。

これからの目標は…

今携わつていける学校新聞を自分が丸ごと抱えて一人で作り上げたい。もう一つは、これまで障害者スポーツ大会でジャベリックスロー（ブラスチック製のやり投げ）やソフトボール投げには出場してきまうが、今度は陸上でメダルを取りたいとのことだ。



▲スポーツ大会に出場（岡山城にて）

・父から息子へ…

「親元を離れて福祉ホームでの生活は、とても大変だつたと思ひまう。これからもとにかく健康には注意してほしい。そして、親がいなくなつた時のことを考へておいてほしい。」

・息子から父へ…

「なんとかなると思ひまうよ。ハブニングを楽しみながらやつていきますよ。大きな病気にならないこと、そして金銭管理ができるようにしていきます。なにより、ゆとりのある生活をしたいですから。」

松田理事からの報恩感謝の言葉

朝日園四十五年の歴史の中、障害者支援事業として年賀状印刷事業を継続しています。片岡良平さんは今年も年賀営業で5500枚受注のトップ成績をあげられました。「心と言葉」「思いとつながり」を力にしよう！の年賀キャンペーンに多大なる貢献をしていただきました。まさに「不可能を可能にかえる人」片岡良平流の生き方ですね。これからも期待しています。

冷静に物事を見つめる 将来のリーダー的存在

障害者支援施設 朝日園
生活介護課 生活支援員

坂本 美波さん（入社四年目）



—どんな内容のお仕事ですか？

おむつ交換や入浴介助、食事介助などを行っています。利用者さん自身のお話を聞き、その人に合った支援をするように心掛けています。

—福祉のお仕事について伺います。

将来、無くならない職業と思いましたが、当然自分の親にも必要になるので、大事なことと思っていました。学生時代に介護福祉を学び、朝日園に入社してから社会福祉士の資格と精神保健福祉士の資格を取得しました。

子どもの頃から人の内面を知ることや自分と違った価値観などに興味がありました。今後は、精神の分野の知識も深めていきたいです。人それぞれ違います。プライドを傷つけないように、人と接する時はその度に初心にかえる努力をしないとけないなと思っています。

—印象に残るエピソードは？

自分が計画を立てて行った利用者さんとの研修旅行。お出かけをしたら、利用者さんのいつもと違う笑顔が見ることができ、幸せを感じました。また職員同士も仲良く過ごせ、人間関係で困ったことはありません。

—朝日園、また福祉業界において、どのような将来を考えていますか？

高齢化や重度化が進んでいるので、それに対応できるように自身の介護技術を高めたいです。常に将来に焦点を当て知識をつけ、周りとの連携をとっていかねればと思っています。

いつの時代も、利用者さんが楽しく、ワクワクして生きて行っていくほしいです。

—プライベートはどんな人？

趣味は読書、ショッピング、そして寝ること。コロナ禍でなければ、外へ飛び出し、いろんな所へ旅行や美味しいものを食べに行きたいところ。（鶏肉大好き！唐揚げにはちよつとうるさいですよ。）

—最近の私：

約一年前から日記を書いていきます。読み返すと、自分を客観的に見ることができますね。



▲自宅本棚

自分の個性を活かして 未来へチャレンジ

障害福祉サービス事業所 朝日平成園
生活介護課 生活支援員

安岡 かよさん（入社二年目）



—どんな内容のお仕事ですか？

指先の訓練、身体を動かすこと、レクリエーションで楽しんでもらうことなど、利用者さんの生活にプラスになるようにお手伝いをしています。

—このお仕事をやるキッカケは？

私の父は子どもの頃、事故で右手の指を3本無くしてしまいました。それなのに、運動も勉強も他人に負けないくらい頑張り、「努力すれば障害は無い」が、口癖でした。仕事はもろんのこと、後に少年野球の指導をするなど、いつも人のために何かをし、マイナスをプラスに変えられる人でした。やはり父の影響で、この道に導かれたように思います。

—障害を持った方と接する時に感じることは？

自分の自己満足で仕事をしてはいけない。気持ちを半分にして、

おごりで支援しないこと。利用者さんのことを充分に知ってから対応する。とにかく「謙虚に」をモットーに仕事をしています。今の自分は、施設の中で足りない所を埋めるような役割でいたいと思います。

—印象に残るエピソードは？

入社一年目の軽作業の部署に配属されていた時は、なにも分からなく大変な毎日でした。そんな時、利用者さんたちが逆に気にしてくださって、お互いに協力し合って助けてくれました。

自分を成長させてくれた出来事でした。この出会いに感謝し、決して忘れることはできません。

—朝日園、また福祉業界において、どのような将来を考えていますか？

新しいことにチャレンジしなければいけないと思います。施設同士が良くなるように高め合うことも大事です。朝日園はその中でも先頭を走っていないかと思うます。私自身も医療知識を習得した支援員を目指し、この春から看護学校に通います。

—最近の私：

ライオンラビットの「お塩ちゃん」と二人（？）暮らし。お休みの日には、メンデナンスに通ったり、一緒に過ごしています。可愛くてしかたないです♡



▲お塩ちゃん



..... AFTER コロナから WITH コロナ時代へ

2020 年 2 月、世界的にも日本全国でも新型コロナウイルスの感染拡大が大きな脅威となり、政府は国民に対し「新しい生活様式」への移行指針を発表しました。

そのような中、朝日園グループでも利用者、職員の命と生活を守るために感染症特別対策本部を立ち上げ、オリジナルに策定した「新しい朝日園スタイル」を実施しています。

組織名は「**New Asahi Style Action**」（呼称：NASA ナサ）です。

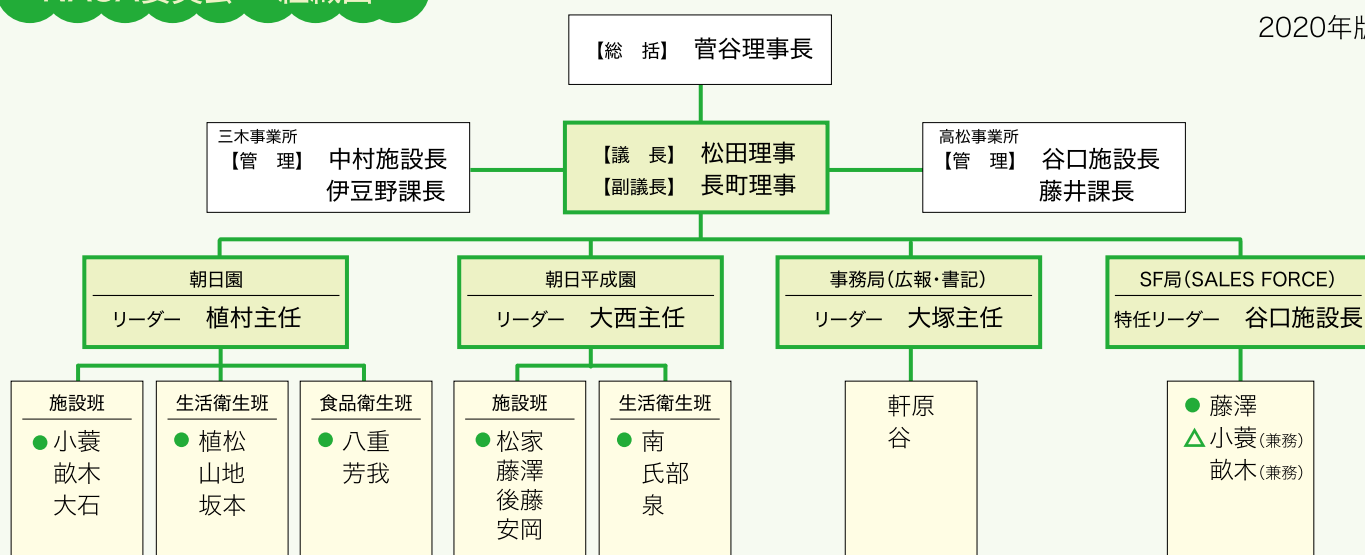
「AFTERコロナ」から共存する「WITHコロナ」を意識する基本理念とし、法人の全8施設内で施設環境、衛生管理、食品衛生等の総合的支援の継続と更なる予防施策など多角的に議論し、そして変革する時代に対応すべくスピード感をもって活動しています。全国の緊急事態宣言発令中、障害者支援施設として全国的にも県下としても先駆けていち早く「自粛要請」することを決めて対策を講じました。その行動力の速さには各行政並びに関連の福祉施設の方々にも評価されました。

★NASA の五つ星 行動指針★

- ☆ つながり(利用者と家族)
 - ☆ 施設の有効活用
 - ☆ 新しい行動
 - ☆ 衛生・安全・健康
 - ☆ 職員・支援員の育成
 - プラス1 ☆ 情報共有ライン
- NASA通信の編集と発行（情報提供⇒将来的にはオンライン化）
法人施設の最大活用で3密対策（分散型食事・作業・広場）
行事、イベント、診療、研修、会議のリモート化、AI化推進
HACCP厨房・安全衛生委員会・介護改革・看護師会等の英知結集
障害者施設の運営リーダーシップの育成
セールスフォースの導入による活用と意識改革

NASA委員会 ～組織図～

2020年版



▼車椅子の抗菌作業

▼オンライン会議

▼サーモグラフィーカメラ（玄関）

▼施設の光触媒コーティング

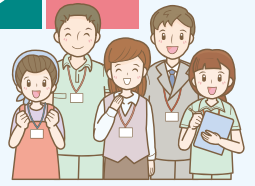


利用者ファースト！／

最強の

サポーター

朝日園グループの職員を紹介します。



障害者支援施設 朝日園
生活介護課 医務 看護師

神代 クミ

笑顔と笑いが絶えず明るく過ごしましょう。



障害者支援施設 朝日園
セルフ課 係長 目標工賃達成指導員

小蓑 大介

利用者さんの工賃向上のために邁進しております。



障害者支援施設 朝日園
食品課 栄養士 リーダー

八重 海美

給食を食べて元気になっていた
だけよう頑張ります。



障害者支援施設 朝日園
セルフ課 リーダー

畝木 悠熙

利用者さんと一緒に新しいこと
に挑戦できればと思います！



障害者支援施設 朝日園
食品課 栄養士

芳我 里奈

皆さんに楽しくおいしい食事を
提供します。



障害者支援施設 朝日園
セルフ課 賃金向上達成指導員

山西 恭

一緒に楽しく作業しましょう。



障害者支援施設 朝日園
生活介護課 生活支援員 リーダー

吉田 真里

毎日笑顔で過ごせるよう頑張
ります。



障害者支援施設 朝日園
セルフ課 職業指導員

軒原 菜々子

共に協力し、楽しみながら作
業をしましょう。



障害者支援施設 朝日園
生活介護課 生活支援員 リーダー

坂本 美波

楽しく快適な生活が送れるよう
に、若さとパワーで頑張ります。



障害者支援施設 朝日園
セルフ課 職業指導員

松家 俊樹

誠実かつ謙虚な姿勢を心掛け、
安心して利用できる環境づくりに
努めます。



障害者支援施設 朝日園
生活介護課 生活支援員

大石 佳彦

初心を忘れず頑張ります。



障害福祉サービス事業所 朝日平成園
セルフ課 職業指導員

荻木 主税子

利用者さんに笑顔を届けられる
ように頑張ります。



障害者支援施設 朝日園
セルフ課 職業指導員

氏部 美代子

みなさまが安心・安全に利用し、
楽しく過ごせる場所であり続ける
よう、努力していきます。



障害福祉サービス事業所 すずらん
リーダー サービス管理責任者

南 知佳

お風呂で癒しを感じていただき、
明るく楽しいすずらんを目指し
ます。



障害者生活支援センター あい
相談支援員 (高松事業所 係長)

藤澤 怜史

自分が成長し利用者さんも成長でき
るよう、状況に応じた冷静な判断を
心がけて業務に取り組んでいます。



障害福祉サービス事業所 すずらん
生活支援員

小蓑 百合恵

大変な時期ですが、みんな元気
で乗り切りましょう！



障害福祉サービス事業所 朝日平成園
生活介護課 生活支援員

後藤 健児

仕事を通じてやりがいや達成感
を約束します！



障害福祉サービス事業所 すずらん
生活支援員

谷 小百合

利用者のみなさまが笑顔になれ
るよう頑張ります。



障害福祉サービス事業所 朝日平成園
生活介護課 医務 看護師

山地 麻友美

病気予防のため手洗いと消毒を
行いましょう。



障害福祉サービス事業所 すずらん
医務 看護師

泉 智恵

今日という日に感謝して生活し
ましょう。



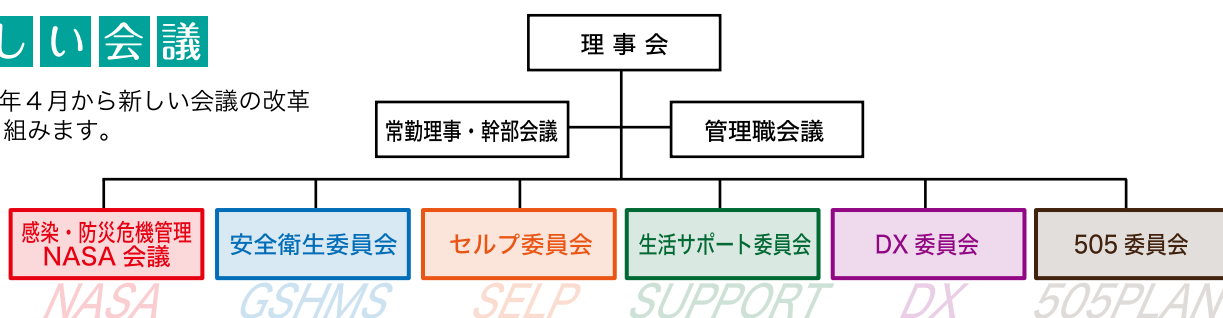
障害福祉サービス事業所 朝日平成園
セルフ課 職業指導員

織田 亜衣

快適に作業をしていただけるよ
う頑張ります。

新しい会議

2021年4月から新しい会議の改革
に取り組みます。





デマンド交通の構築を目指して

株式会社あさひ交通 松栄物流株式会社 代表者 松本 重樹

私は、朝日平成園の職員が送迎業務を行っている車輛に同乗し、送迎の実態やコースを把握するために毎日通い詰めました。職員や当時の派遣スタッフに交じって一人で運行をしつつ、この業務を当社で果たして請け負うことができるのか模索していたのは今から約2年半前のことです。もちろん私自身、当時は福祉送迎の経験は皆無。慣れない乗降のサポートや車椅子リフト操作に四苦八苦しながらも、使命感がひしひしと湧き上がる日々でした。

“すべては利用者さんのため”という信条のもと、まずは職員を送迎のための運転業務から解放し、施設内業務に集中できる環境をつくることこそが利用者ファーストにつながると信じ、経験豊富な仲間を募りつつ共に取り組んでまいりました。そして私達はプロとして更なる安全と快適な運行を目指すと共に効率化も図ってまいりました。朝日園グループ職員や利用者さん、そしてご家族のみなさまの送迎業務におけるご理解と多大なるご協力に加え、日々高まる一体感があってこそ、このモビリティサービスが構築できたのだと心より深く感謝しております。

しかしながら、未だ課題は多くあります。「あさひ送迎の会」が発足され、施設と送迎の現場が意見交換を行い、交流することで一つ一つ着実に前進しております。

これまででは、松栄物流株式会社にて納品や引取りなどの貨物輸送に加え、送迎業務も請け負ってまいりましたが、更なる効率化と適正化を考慮し旅客運送やドライバー派遣を行うグループ会社「株式会社あさひ交通」に業務主体を移管させていただくことにしました。システム化

や管理業務等においては両社が協力体制で、新たな人材やIP無線システム（GPS）を投入する等、朝日園グループの送迎は進化し続けます。

あさひ交通より派遣された同じ顔ぶれのドライバーは、利用者さんのみならず職員の通勤、入所者のみなさまの外出のお手伝いも担い、サービスは拡充しております。

朝日園グループの送迎は、単なるヒト・モノの移動として定義されたモビリティサービスではありません。

みなさまのデマンド（需要や要求）に想いをもって応える交通であって、ヒト・モノ・キモチが通い交わるモビリティサービスオンデマンドがここ朝日園グループで誕生しました。



【松田理事からの送迎応援メッセージ】

株式会社あさひ交通・松栄物流株式会社様とは利用者さんの送迎業務の一元化を図るために全面委託をしております。利用者さんからも安全・安心の喜びの声が多く聞かれるようになりました。

このような中、送迎関連において朝日園グループと情報共有の場「あさひ送迎の会」を設置し、福祉施設での送迎のあるべき姿を未来的思考で研究しております。まさにヒト・モノ・キモチをカタチに変えるモビリティサービス（AIなどを使った自動車による移動システム）の幕開けです。

「あさひ送迎の会」を母体として益々の連携パートナーとして期待しております。

合同家族会「あさひ♡家族会」としてスタート

社会福祉法人朝日園の各施設では、「朝日園さつき会」「朝日平成園家族会」「すずらん家族会」「朝日つばさ家族会」の4家族会がそれぞれ活動されています。各家族会は各々の会員様の努力により特徴を活かした自主的な運営が活発に行われているところです。しかしながら、利用者・家族会会員の高齢化、社会情勢の変化、WITH コロナ時代の対応、新しい情報伝達方法等の社会環境の急激な変化により、私たちの生活様式にも変化が求められております。

このような状況の中、朝日園法人本部として急変する社会環境や福祉改革に役・職員が一丸となって取り組んでいます。その一環として変化する福祉時代に対応するために、各家族会の統合に向けてのご提案を各家族会の皆様方に働きかけてきました。

2021年3月3日に「合同家族会準備会」を開催いたしました。4家族会の会長・副会長・役員13名の参加により家族会統合に向けての議論がされ、2021年4月1日より「あさひ♡家族会」として新しく生まれ変わることになりました。初代会長には福祉業界での経験と知識豊富な中山節子氏が満場一致で選任されました。また、従来の4家族会は「さつき部会」「平成園部会」「すずらん部会」「つばさ部会」の4部会としての自主性を最大限に尊重し、活動する事も決議されました。

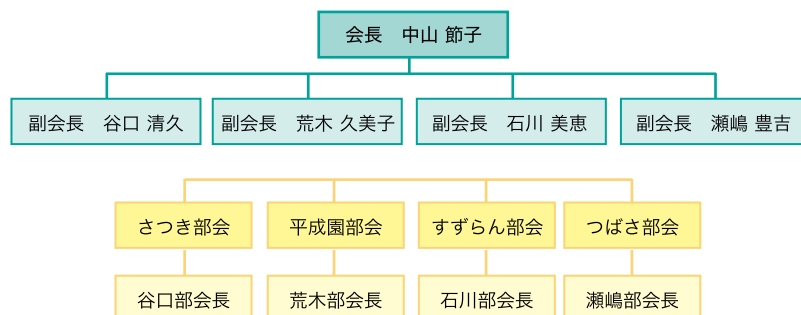
社会福祉法人朝日園は家族会員の皆様方の意見に耳を傾け、福祉サービスの質の向上に、尚一層努めていく所存であります。どうかご理解・ご協力をお願い致します。



▲あさひ家族会 中山会長



▲合同家族会準備会の様子



TOYOTA シエンタ福祉車両納車㊦

令和3年2月22日

利用者さんと職員の念願であった TOYOTA シエンタ福祉車両が納車されました。

昨年11月に UNITED FOODS INTERNATIONAL 株式会社 President 青木 啓之様よりご提案があり、Humming Bird 未来基金様よりご寄付をいただき購入することができました。

障がい者の方が安全に安心して送迎・病院受診ができる車両が整ったことをとても嬉しく、感謝しております。コロナ禍が落ち着きましたら、ショッピングやお出かけなど社会参加にも十分使用させていただきます。

朝日園はこれからも「利用者ファースト」の使命を果たしてまいります。



オンデマンド印刷機導入！清水基金様助成に感謝

令和3年3月4日

清水基金様より、2020年度 社会福祉法人助成事業で助成をいただき、モノクロオンデマンド印刷機1台を導入することができました。

以前の機器は導入後11年経過し部品製造も終了、通常7年程度の寿命といわれるオンデマンド印刷機に、ここ数年はムチを打って苦戦しながら印刷していました。3年前より更新の検討をしていましたが思うように進まなかったのです。

しかし、清水基金様の助成事業申請でお願いが通じ、現在、用紙を山積みにしてバリバリ印刷をしています。今回更新整備された印刷機は、最新のモノクロオンデマンド印刷機で、品質・スピード共に申し分のないものです。新たな朝日園の力として活用させていただきます。清水基金様には重ねて感謝申し上げます。



(令和二年十月十四日)

高松市街

障害者に自立への意欲を
高めてもらうと高松市の
大田市長は、市内の障害者
福祉施設を訪問し、施設で
作業や訓練に当たる障害者
らに励ましの言葉を贈った
写真。

障害者施設への訪問は恒年実施。今年は新型コロナウイルスの影響で訪問先を例年の半分ほどに絞り、14日に市内5カ所、計約13

このうち、同市間出東町の障書福祉サービス事業所「朝日平成園」（谷口純一施設長）では、市長は「仲

聞て「種に仲良し暮らした
が、しつかりと生活し
て、副産に励むな」とい
うので、記念館を創立
利用者の代表が、新型コロ
ナウイルスの影響で作業が
少なくなっているが、感染
症対策をしっかりとて頑張
りたい」と互いの言葉を交
わした。

また、園園とヒラオ会談
シスデムでつながるカトル
ブ施設の「朝日館」(三木
町)からも、市長の来園を
歓迎するメッセージが寄せ
られた。



年賀状印刷ご注文ありがとうございました



高松市大西市長が施設利用者と職員への激励のため朝日平成園にご来訪されました。大西市長から利用者の皆さんに対して、「仲間と楽しく、しっかりと生活し、訓練に励んでください。」とのあたたかい言葉とともに、記念品をいただきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントが中止となり、また、利用者の皆さまも外出行事が難しい状況の中、この度の大西市長の激励訪問は、利用者、職員一同大きな励みとなりました。

大西市長、公務が多忙の中、ありがとうございました。

令和2年10月21日《四国新聞掲載》

丑の年賀状
印刷本格化

り上げている。今年は、新たに
王女禁裏に「変身」する即ホー
ル素材の年賀状を発売。現在、
注文などを受け付けており、開
票設は「新型コロナウイルスの
影響でなかなか送えない人に、
ゆめもいろいろの年賀状で安

三木の障害者支援施設

干支飾りに変わる商品も

心を固けてもらえれば」としている。

同協説では障害者の自立支援の一環で、個人や企業などから受注した年賀状の印刷を40年以上前から毎年行っている。

今年は50万枚の受注を目標

に、年賀状の模、装中・素中、
種々のデザインを用意。利用者
職員約40人が印刷作業に携
り、朝上がった年賀状に所
や内容の間違いがないかなどを
入念にチェックしている。
今年新たに開発した段ボール

8年間は横1・8で、白とクラフト色の2種類。表には宛名などを記入できるスペースを設け、裏にはまたら模様を印刷している。横に折って切り取り、組み立てると丑の餅りが出来上がるというユニークな商品だ。

とができる。1枚250円(税別)

市より年賀
コロナ禍の大
肩下がり
の気持ちで
しめる製品
します。

昨年は、大勢の方より年賀状印刷のご注文をいただき、誠にありがとうございました。コロナ禍の大変な時期に様々な方のあたたかいご協力のもと、ここ数年右肩下がりであった注文数が少し上向きになり、当園利用者と職員は感謝の気持ちでいっぱいです。
 本年もより良く楽しめる製品づくりに励んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。
 売上は、働く障がい者の工賃として還元されています。

この広報誌へのあたたかい声を
いただきました

いつもありがとうございます。
みなさんの様子がわかる園報、
毎度楽しみをしています。
様々な体験や新しいことへチャレンジ、
はさみを使ったみなさんの表情が、
暗い場所を照らす光のように、
毎日の生活もさっと楽しいものになっています!!
と、いつも間にか励みになっていました。
年頃までの印刷依頼しなくてはなりませんが
いつも応援しています。

お手紙をいただいて非常に嬉しかったので
掲載させていただきます。
これからも励んでまいります。

谷口豊己さん、
香川県健康福祉部長賞受賞！

令和2年度心の輪を広げる障害者理解促進事業
(香川県及び内閣府の共催)の「心の輪を広げる
体験作文」へ個人で応募して、「香川県健康福祉
部長賞」を受賞されました。

朝日園(B型)を利用されている谷口さん自身の体験に基づいて、パラリンアートへの想いを誰かが読んでわかりやすく書かれ、これまでの取り組みや心情が読む人にも非常によく伝わります。これからもパラリンアートの活動を頑張ってください！

法人朝日園が日本財団より
感謝状をいただきました！

朝日園に設置している日本財団チャリティー自販機
の設置年数5年に伴い、感謝状をいただきました。
売れ行きも良く、利用者さんにも好評です。
(※飲みすぎ注意)

□新入職員紹介



大路 杏



柳生 晴香



石見 陽生



上田 桃加



掛 美香



佐藤 小夏



竹澤 真唯

□新入利用者さん紹介



中山 惇子



秋村 英里



内海 千賀



上廣 隆司
朝日平成園(B型)
(R2.10.2~)



田中 保代
朝日園(B型)
(R2.7.20~)



田村 祐美
朝日園(生活介護)
(R2.9.7~)



前田 梨里花
朝日園(生活介護)
(R2.10.1~)

□寄附・寄贈

(令和2年10月~令和3年3月)順不同・敬称略

- ・UNITED FOODS INTERNATIONAL(株)
- ・(株)朝日段ボール
- ・社会福祉法人三木町社会福祉協議会
- ・長嶋 宣浩
- ・白井 義男
- ・(株)アサヒ包装



【高松葵ライオンズクラブ】
(血圧計、体温計、血中酸素濃度計 各5個)



【株式会社 朝日段ボール】
段ボール製 干支人形



【Humming Bird未来基金】
(UNITED FOODS INTERNATIONAL株式会社運営)
シエンタ(車椅子車両)



【三木町社会福祉協議会】
年末御見舞金

□ご厚志ありがとうございました

(令和2年6月~令和3年2月)順不同・敬称略

- ・長永 康男
- ・ユタカ電材(株)
- ・竹内 勝久
- ・(有)三洋企画
- ・ハート(株) 高松支店
- ・アキヤマオフセット販売(有)
- ・(株)タカネ設計
- ・細川 昇
- ・(株)合田工務店
- ・(株)カナック
- ・吉井 久善
- ・(株)沖紙器
- ・(株)三井 高松支店
- ・安部 陽子
- ・井口 多栄子
- ・らんモバイルヘアサロン
- ・(株)西丸石油店
- ・(株)榊紙店

□苦情解決

(令和2年4月~令和3年3月)

- ・三木地区 0件
- ・高松地区 0件

令和3年3月現在

各事業所に苦情解決体制を整備し、苦情受付ボックスを設置して利用者さんからの苦情に対して、迅速かつ適切な対応を行っております。

編集後記



昭和47年に創園され、平成、令和の3時代の歴史を歩んできた45周年記念誌に取り組みました。まさかの新型コロナと闘いながらの編集作業でした。令和の新しい朝日園の改革の記事を中心に編集会議を行いました。こんな時代だからこそカタチに残すものとして利用者さん120名、職員80名の人文字「A45」に挑戦しました。三木・高松の編集スタッフと総員200名の協力で30分で撮影できた一体感の技でした。45才の誕生日を迎えた朝日園が更なる躍進のため、家族会の統合・会議の改革・送迎の改革・新卒者8名の採用等新しい風が吹いてくる予感がします。

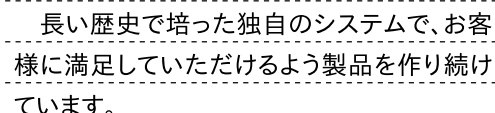
また、12名のリーダー討論会では「二十四の瞳が語る」と題して50周年にむけての想いを語ってもらいました。討論会に参加された二十四の瞳が輝き熱のこもった内容となりました。45周年記念誌の秋号では家族会の討論会も企画しております。また、白井理事・長嶋理事・壺井元理事長による「ベテラントーク」も企画構想にあります。編集するのが大変かも(笑)。

今回の集合写真を見て、ほとんどマスク姿で写っています。マスクの奥にある皆さんの気持ちを考えました。コロナに負けないぞ！ガマンしてるよ！楽しい事したい！みんなで集まりたい！お出かけしたい…私の大好きな歌手の中島みゆきさんが歌っている「時代」と言う歌があります。

「♪そんな時代もあったねと…」この45周年記念誌を時がたって、ページを開く時、この「時代」の歌を口ずさみ歴史を振り返りたいですね。

(編集委員 松田・長町・植村・大塚・畝木・松家・神前)

輕業






<http://asahien.or.jp/>